

令和 6 年度 事業報告

【施設目標について】

令和 6 年度の施設目標を『お互いをフォローし合う』と定め、各部署が目標達成に取り組みました。

特養部門においては、役割分担を明確にするとともに、フォロワーを設定してサポート体制を整えて事に当たっています。まだまだユニット間で達成度に差はありますが、少なからずコミュニケーションが生まれ円滑に業務は回るようになっていきます。また『サンクスカード』という、他職員の行動に対する感謝を記入・提出するシステムも、良好な人間関係構築に役立っています。

デイサービスを始めとした居宅部門においては、管理者が職員との積極的な面談を行うことで、早期に職場の問題を洗い出して対策し、働き易い職場環境が維持されていると感じています。

引き続き、施設全体がお互いをフォローし合うという意識を向上させていくよう、取り組んでまいります。

【6 年度の状況と次年度での取り組み】

最近の傾向として、介護度の高い入居者・超高齢での新規入所者が増えており、必然的に入所から退所までの期間が短くなります。結果として入れ替わりは激しく、入所待機者数も思った以上に増えない状況が続いています。6 年度もなかなか空床が埋まらず、4 月末によりやく 70 床が満床になったところです。ただし、今現在も看取り介護の利用者が 10 名近くおり、なかなか安定しない状況は続いていくと思われます。

ただ有難いことに、周辺病院や老健からの紹介や、居宅サービス利用者の入所申し込みはコンスタントに頂けていますので、引き続き丁寧な介護を心掛け、地域から選ばれる施設であるよう努めてまいります。

また、6 年度は居宅部門も苦戦が続いていましたが、新年度に入りようやく目標稼働率に到達しつつあります。こちらサービス質に加え、空き利用の推進で利益の確保を目指していきます。

令和 7 年 5 月

施設長 真下和人